

2020年度 事業報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 Colorbath

1 事業の成果

2020年度は、これまで実施してきた Web 交流事業（名称：DOTS）の功績が認められ、国（文科省）のパイロット事業として山口県内の行政と連携し、公的な事業貢献を果たすことができた。県内でのモデル事例づくりに注力したことから、この成果は他地域への展開を拓げるきっかけになると期待でき、次年度以降の活動展開にも大きく貢献していくと考える。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）とも連携し、アフリカマラウイでの医療衛生環境や森林環境問題を解決すべく、ソーラーボイラー事業拡大のきっかけを創ることができた。その他の事業としても、官民連携、助成事業支援を受けながらコーヒー事業の幅広い事業展開を行うことができています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位：千円)
① 国際交流事業	◆山口県の中学校にて、マラウイ・ネパールとつながる Web 交流活動を実施。生徒のみならず、教員の ICT 研修等も行った。また、服部禮次郎アフリカ基金の採択も受け、事業を実施した。	(A) 7月～2月 4月～12月 (B) 山口県周南市 富田中学校、 (C) 5名	(D) 学校関係者、教職員、保護者、生徒 (E) 計 300名	1,000
	◆ネパールの農村地域における貧困地域の支援のために、コーヒー産業で雇用創出を目指した事業として、専門家とのオンライン研修を行った。	(A) 6月～3月 (B) ネパール (C) 3名	(D) 農家 (E) 30名	1,200
	◆マラウイのムジンバ県南部病院とも連携し、太陽光を利用したソーラーボイラーの改良を行った。(マラウイにおいて、太陽光でお湯を沸かすことのできるソーラーボイラーの普及実証活動)	(A) 7～2月 (B) マラウイ共和国、大阪市 (C) 2名	(D) 農家、病院、現地 NGO (E) 100名	500

② スタディプログラム事業	教育者と社会をつなぐ実践型コミュニティ「Educators Innovation Lab」を立ち上げた。	(A) 8月～1月 (B) 全国 (C) 3名	(D) 教育に関心がある方 (E) 120名	200
	◆約20回に渡るオンラインイベントを企画実施し、全国の様々な方との対話の場を設けた。	(A) 4月～8月 (B) 全国及びネパール (C) 4名	(D) 学生、社会人 (E) 150名	100
③ 留学生受け入れ事業	提携する学校の調査及び留学生の生活状況のヒアリングとサポートを行った	(A) 通年 (B) 全国及びネパール (C) 2名	(D) 留学希望者、受け入れ教育機関 (E) 120名	250
③ スポーツ交流事業	ネパールオリンピック協会、テコンドー協会と情報交換を行い、東京オリンピックに向けた協議を行った	(A) 10～3月 (B) ネパール (C) 1名	(D) ネパールオリンピック協会の指導者及びスポーツ選手、学校の生徒 (E) 30名	0

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位: 千円)
実施無し			

(備考)

- 1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

2020年度の事業報告書（詳細）

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 Colorbath

1 事業の成果

2020年度は、これまで実施してきた Web 交流事業（名称：DOTS）やスタディツアー事業などの国際交流事業の功績が認められ、国・行政連携や助成事業としての活動の幅をさらに広げることができた。日本での活動地域を山口県内（周南市）に重きを置き、県内でのモデル事例づくりに注力したことから、この成果は他地域への展開を拓けるきっかけになると期待でき、次年度以降の活動展開にも大きく貢献していくと考える。その他の事業としても、官民連携を行いながらコーヒー事業やソーラーボイラー事業などの幅広い事業展開を行うことができた。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 国際交流事業

<1. 2020年度 EDU-Port ニッポン パイロット事業 >

文部科学省が公募した「日本型教育の海外展開推進事業」の公認プロジェクトに採択され、事業全体のコーディネーターや企画、学校・行政との運営調整、周南市立富田中学校と連携した Web 交流プログラムを実施した。

■事業名：マラウイとの ICT を活用した生徒・教師参加型の双方向グローバルプログラム推進事業

■概要

マラウイと日本の地方部（山口県）の生徒・教師同士がオンライン／オフラインで互いに交流を行う。教科の教授法のみならず、日本の学校のクラス運営の手法等を共有することで、教師 1 名につき生徒が 100 名いるような状況においても効率的な運営ができるよう日本式教育を輸出する。教師への ICT 活用のトレーニングに加え、実際にマラウイと日本の同世代の生徒同士のやりとりすることで、日本式教育のクラス運営等の手法をマラウイの生徒・教師が実践することへの動機づけを行った。

■担当者・参加者

学校名	富田中学校 (山口県周南市)	カプタ小学校 (マラウイ・ムジンバ県)
担当教諭	吉岡先生 (校長) 水島先生	Wongani 先生
参加生徒数	13 名	5 名
参加生徒	生徒会 (2~3 年生)	有志

■実施スケジュール

業務項目	実施期間 (2020年7月3日 ~ 2021年2月28日)								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
①生徒同士の探求型Web交流	企画概要共有			Web交流①	Web交流②		Web交流③		
②教員同士の日本式クラス運営手法オンラインセッション				セッション①				セッション②	
③マラウイ教員へのICTスキルトレーニング						トレーニング①			トレーニング②

■本事業がきっかけで派生した活動

- ・周南市内の全中学校の校長会、及び全小学校の校長会における事業説明

市教委と企画共有を行い、協議を進めていく中で、本事業について早い段階から他の学校への周知活動を行い、来年度以降には周南市全体へと展開していく計画を策定した。周南市全体の中学校 14 校と小学校 23 校の校長先生が集まる各校長会において、本事業の内容を紹介し、生徒同士や Web 交流や教員同士のオンラインセッションへの見学を促すことにより、より多くの学校や教員が日本の教育の魅力を共に探求する仲間としての参画を募ることができた。

- ・周南市市長への活動報告

周南市内の小中学校の校長会で事業説明するだけでなく、周南市の藤井律子市長に面会する機会をいただき、富田中学校とカプタ小学校の生徒同士の交流や EDU-Port ニッポン事業について活動報告を行った。このまちをモデルとしながら、未来を担っていく地域の人材育成にも貢献できるよう、活動の環をひろげていくきっかけとなった。

- ・「日本型教育とは何か」を議論するオンラインイベントの開催

Colorbath とつながりのある学校の教職員、教育関係の民間企業、NGO 団体に活動している人が参加し、「日本型教育のあり方」について意見交換するオンラインイベントを開催。「義務教育」「生徒評価」「集団行動」「先生の役割」「ICT 教育」の 5 つの観点をベースとし、その中で様々な議論が行われた。「ICT 教育について話す場合において、ICT というツールについて話すのではなく、それらがもたらす影響や、ICT として活用していく意味を話し合うべき」や「海外の生徒評価の方法を調べて日本の偏差値評価と比較していくほうがいい」などの、今後の日本型教育のあり方についても意見を聞くことができた。

<2. 服部禮次郎アフリカ基金での Web 交流事業>

2019 年度服部禮次郎アフリカ基金の助成事業として「「世界とつながる教室」マラウイ Web 交流 ―日本とアフリカの共成長を―」が採択されたことを受け、2020 年 1 月よりプログラムコーディネーターとして、事業全体のコーディネート、企画、運営、現地生徒のサポートを行った。Web 交流にて、マラウイの生徒と日本の中学生や高校生が親睦を深めた。コロナ禍の互いの状況を共有し合うことで、自分たちの「当たり前」が相手国にとっては「当たり前ではない」という現状にふれ、国の施策の違いについて知る機会となった。

実施期間	2020 年 1 月～2020 年 12 月
対象地域	マラウイ、山口県周南市、兵庫県神戸市
参加者・人数	50 名（国内 40 名、マラウイ 10 名）
連携	周南市立富田中学校（山口県） 兵庫県立御影高等学校（兵庫県） カプタ小学校（マラウイ）

■ プログラム全体スケジュール

開催月	内容
2020 年 1 月	マラウイ教師への ICT 活用トレーニング
2020 年 2 月	日本に教師、生徒に対するマラウイに関する文化理解セミナー実施 マラウイの生徒に対する日本の文化理解セミナー実施 日本とマラウイをつないだ Web 交流実施①
2020 年 5 月	マラウイ側と今後のスケジュールについて協議
2020 年 6 月	山口県周南市教育委員会と今後のスケジュールについて協議
2020 年 8 月	日本の教師への ICT 活用研修 マラウイの教師への ICT 活用研修 日本マラウイフォーラムにて Web 交流活動について発表
2020 年 9 月	ICT 活用トレーニング（日本・マラウイ）
2020 年 10 月	マラウイとの Web 交流実施②
2020 年 11 月	マラウイとの Web 交流実施③ 全員オンライン参加での Web 交流実施（御影高校）

<3. ネパール・サンスカール小学校支援事業>

2020 年 12 月に昨年度、万国博覧会記念基金事業でグローバル交流を行った上板町立高志小学校の生徒約 60 名とネパールサンスカール小学校の生徒 5 名による Web 交流が 1 年ぶりに行われた。コロナの影響を厳しいロックダウンを受けていたネパールの生徒より、家庭やサンスカール学校の経済状況の困窮さや、学校に通いたくても通えない現実が共有された。この交流をもとに、高志小学校ではサンスカール基金活動が生徒の発案によって実施された。「世界の誰かを救う」という活動ではなく、「自分の友達のために、何かできることはないか」と生徒自らが考え、学校全体を巻き込みながら行動を起こすきっかけとなった。また、2021 年 2 月には卒業する高志小の 6 年生をお祝いするために Web 交流が実施され、その中で受け取った支援金による変化も報告された。

日時	2020 年 12 月 3 日・2021 年 3 月 12 日
対象校	徳島県上板町立高志小学校（Zoomにて運営） ネパールサンスカール小学校

参加者・人数	高志小学校：150名（4～6年生） サンスカール：代表生徒4名
内容	・互いのコロナの影響を説明 ・質疑応答

<4. 持続可能なコーヒー事業>

■概要

ネパールの多くは農業従事者であるが、気候やインフラの整っていない環境では物流面での課題が多く、収入を向上させることが難しいという課題がある。そんな貧困地域の補助のため、質を高めたコーヒー産業で雇用創出と収入向上を目指し、ネパールの魅力を引き上げる支援を行っている。また、この事業をとおして先進国の人々が、「仕事とはなにか」「働くとは何か」「農業や食とは何か」を考え直すきっかけを提供し、持続可能なライフスタイルを提案していくことを目指す。

■詳細

オンライン研修を実施：2020年6月、8月、2021年2月

栽培マニュアル制作の企画：2020年7月～12月

■連携先

在ネパール日本大使館

アジア生協総合研究所

株式会社 坂ノ途中

■成果

様々な現地行政機関や企業との連携により、専門家の派遣や品質向上のためのオンライン技術指導研修、栽培マニュアルの企画骨子が作成できた。現地の農家さんが中心となってコーヒーグループを設立し、地域のモデル農家グループが決まり、コロナ禍な困窮を支援するため苗の配布と植え付けも行うことができた。また、2021年1月にはネパールのコーヒー豆を実際に日本へ輸入し、国内販売を開始させた。来年度は収穫に向けたトレーニングを行いつつ、精製から焙煎などの出荷にむけたプロセスや工場運営などの現地マネジメント強化を目指す。

<5. ソーラーボイラー事業>

■概要

マラウイではまだまだインフラが整っていない地域が多く、お湯を沸かすために炭や薪を使用するため、森林伐採などの環境破壊が課題となっている。太陽光でお湯を沸かすことのできるソーラーボイラーを設置することによって、インフラの整っていない環境下でも自然にお湯をつくることのできるため、地域コミュニティのヘルスセンターにおける医療的な活用や、日々の生活で煮炊きをするクッカーとしての役割を担い、現地の人の生活向上やマラウイの環境問題解決を目指す。

■成果

マラウイの医療施設での活用が見込める太陽光熱を利用したオートクレイブ（高圧力滅菌器）の開発を行うことができた。医療用、食事用、入浴用等、様々な用途での活用が期待できる状態になり、現地での利活用への期待を高めることができた。

加えて、JICA 草の根技術協力事業にも採択を受け、本格的な展開に向けて基盤が整いつつある。

(2) スタディプログラム事業

<1. Educators Innovation Lab>

■概要

「教育者と社会をつなぐ実践型コミュニティ」として、Colorbath が主体となり立ち上げたソーシャルコミュニティ。日本全国の先生、そして教育に関心のある社会人や学生がつながり、ともに自らの実践を通して学び合い、高め合うコミュニティ。多くの方々の協力を得ながら構想を形にすることができた。

■詳細

参加者・人数	約 15 名 (学校の先生、大学生、民間企業社会人、NPO 職員等)
イベント実施	・「これからの学校や先生の役割とは？」 立命館小学校 正頭英和先生 ・「プログラミング教育と学校の未来」 株式会社アーテック 代表取締役 藤原 悦

■イベント詳細

イベント名	これからの学校や先生の役割とは？
日程	2020 年 11 月 8 日
参加者・人数	23 名
内容	・ EIL の概要紹介 ・ 正頭先生プレゼン (企業と学校をつなぐことの意義等について) ・ 参加者同士自己紹介、感想共有

イベント名	プログラミング教育と学校の未来を考える
日程	2021 年 1 月 23 日
参加者・人数	28 名
内容	・ アーテック社の商品紹介、概要説明 ・ 「プログラミング教育のこれから」の対談 ・ 参加者同士自己紹介、感想共有

■成果

立命館小学校の正頭英和先生とのオンラインイベントを開催したことをきっかけに、全国各地の学校の先生にも参画を頂くことができた。加えて、EIL の構想に共感してくださった株式会社アーテックさんともイベントを実施。加えて、新商品開発に向けた事業連携にも着手することができた。

<2. オンラインイベント>

①ナンデモ座談会の開催

■概要

コロナの影響により人との繋がりが希薄になりがちな状況に対し、気軽に様々な人と新たなつながりを生み出すことを目的に、2ヶ月間/週2回という頻度でオンライン座談会を自主開催した。「キャリア編」「女子会編」「グローバル編」と3つのカテゴリーを設けながら、ときにはゲスト登壇するイベントとして実施した。住んでいる地域や年齢、経験などが様々であっても、オンラインで悩みや出来事を共有しあうことによって、そこから新たな繋がりやきっかけが生み出せられていくイベントとなった。

■詳細

日付	時間	ジャンル	タイトル	内容
4/10 金		キャリア	これからの「働く」ナンデモ座談会	就活、起業、国際協力、複業、色々何でも聞きたい話したい！
4/15 水	16:00 - 18:30	キャリア	これからの「働く」ナンデモ座談会	パラレルワーク、副業のリアル、始め方、成功のポイントとは？
4/18 土	15:00 - 17:30	グローバル	グローバルナンデモ座談会	日本の当たり前と世界の当たり前。グローバルに、世界の教育を語ろう。
4/22 水	16:00 - 18:30	キャリア	これからの「働く」ナンデモ座談会	何でもお悩み相談会！
4/25 土	15:00 - 17:30	グローバル	グローバルナンデモ座談会	世界のコロナのリアルとは？
4/29 水	16:00 - 18:30	キャリア	これからの「働く」ナンデモ座談会	大手企業社会人のリアルな実態、安定とかやりがいとかの実際は？
5/2 土	10:00 - 12:30	キャリア	働く「社会人」ナンデモ座談会	30歳前後のキャリア、転職、副業、ソーシャル…これから何かしたい！
5/9 土	10:00 - 12:30	女子会	バリフワ女子のナンデモ座談会 女性のライフプランの築き方	女性のライフプラン、働き方、生き方、挑戦の仕方、幸せとは？結婚や妊娠出産、ライフイベントと女性のキャリアはどう築いていく？
5/13 水	20:00 - 22:30	キャリア	働く「社会人」ナンデモ座談会	フリーランスの生き方、始め方、副業、自分にも何かできることあるのかな？
5/16 土	15:00 - 17:30	グローバル	カラライズ・セッション	海外の国際協力 NGO の最前線！
5/16 土	10:00 - 12:00	女子会	バリキャリア女子のナンデモ座談会 男性脳と女性脳	コミュニケーション！男性脳と女性脳、分かり合うためには？
5/20 水	20:00 - 22:30	グローバル	グローバルナンデモ座談会	海外から見た日本と日本人とは？
5/23 土	10:00 - 12:00	女子会	バリフワ女子のナンデモ座談会 女性の当たり前を感じる違和感	家事育児、”当たり前”に感じる違和感とどう向き合う？

5/30 土	10:00- 12:00	女子会	バリフワ女子のナンデモ座 談会 女性が活躍する社会～仕事 編～	女性が活躍する社会 仕事編！海外で働く、フルタイム、仕事と家庭の両立は？
-----------	-----------------	-----	--	--------------------------------------

■成果

オンラインイベントの参加をきっかけに、Colorbath の活動を知ってもらうきっかけにもなり、学生インターンの応募やプロボノとしての関わり方へとつなげることができた。また、参加者とのディスカッションを交え、アイデアを出し合うことによって、新たなイベントのテーマやカタチを創出することもできた。

② インターン学生主体イベント開催

■概要

インターン生自らが、日常生活で気になっていたこと、将来について不安に感じていることをテーマに座談会や連続講座を企画し、イベントの立ち上げから運営までを行った。学生や参加者が、今まで知らなかった社会とつながることを目的とした 2 つのイベントは、テーマに関する専門家や講師をゲストとして登壇してもらうことによって、自らの意見を深掘るだけでなく、新たな学びを得られる場として大盛況だった。

■詳細

イベント名	ナンデモ座談会～まちづくりにおけるまちの終活とは？～
日程	2020年7月26日(日)
参加者・人数	10名(うち、講師3名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な地域の特色を知る ・地域はどのようにしたら豊かになるのか考え、自分たちに何ができるかを考えるワーク ・地元や自分が住んでいる地域を好きになるワーク

イベント名	誰も教えてくれないお金の授業
日程	1回目：7月23日「お金のリアルをあれやこれや」ゲスト 2回目：8月1日「超基礎編：お金のルール」戸澤講師 3回目：8月8日「実践入門編：貯め方／使い方」戸澤講師
参加者・人数	4名(うち、講師1名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給料からひかれていく税金って何？ ・知っておくと得する仕組みって何 ・知らないと損する仕組みって何？ ・お金の使い方／貯め方 ・株とか運用とか財形とか… ・これからのお金について ・税理士だからやっているお金の工夫

■成果

当たり前で過ごしている日常の生活の中では、なかなか目を向けるきっかけの少ないテーマをもとに、様々な議論を参加者同士で行うことができた。

<3. Colorbath 展>

■概要

Colorbath の 2020 年度の活動を一緒に創り上げてきた仲間とともに、3 日間にわたって開催したオンラインイベント。参加者自らが企画し、コンテンツを運営する形式をとり、自分の「らしさ」を表現することによって、改めて仲間とのつながりの大切さを認識できるイベントとなった。

■詳細

タイトル	「らしさ」の博覧会
日程	2021 年 2 月 5、6、7 日 (Zoom)
参加者・人数	20 名
内容	<ul style="list-style-type: none">・はじまりの宴・職員、インターンによるコンテンツ全 7 回・インターン OB/OG やプロボノによるコンテンツ全 6 回・終わりの宴

■成果

近畿圏内のみならず、徳島県や群馬県、東京都や岩手県など…全国各地からメンバーがオンライン参加し、企画を通して新たなメンバーの一面にふれられ、顔を合わせてじっくりと話を深めあうことができた。Colorbath 展での交流が、それぞれの方のお仕事や生活にとってプラスの刺激となったとコメントを頂いた。今後も毎年開催を行う予定である。

(3)講演等

① 立命館大学・経営学部

日時	2020 年 12 月 11 日
場所	立命館大学・茨木キャンパス
参加者・人数	約 200 名 (1 年生～4 年生)
内容	<ul style="list-style-type: none">・ビジネスと社会貢献活動の両立・国際協力とビジネスの両立・ソーシャルデザインと経営

② 神戸ローターアクトクラブ

日時	2021 年 1 月 14 日
場所	オンライン (Zoom)
参加者・人数	約 14 名
内容	<ul style="list-style-type: none">・社会貢献を仕事にするキャリア・自分たちにできる国際貢献と奉仕

③ 周南市立富田中学校

日時	2020 年 2 月 5 日
場所	周南市立富田中学校 立志式にて
参加者・人数	約 200 名 (2 年生+保護者)
内容	<ul style="list-style-type: none">・これまでの人生と世界のつながり・マラウイ、ネパールとの合唱交流

④ 山口市立袖野木小学校

日時	2020年11月18日
場所	山口市立袖野木小学校
参加者・人数	声と5名+教員3名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの人生とマラウイでの生活 ・マラウイを知ろう

⑤ 兵庫県立御影高等学校

日時	2020年7月21日(学校訪問)、12月15日(オンライン)
場所	兵庫県立御影高等学校
参加者・人数	約35名(人文コース1年生)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの人生と世界のつながり(マラウイでの活動) ・これからのキャリア、働き方

(4) メディア掲載等

媒体	内容
山口新聞	マラウイとの国際Web交流
シティケーブル周南	富田中学校での取り組み
NHK山口	「やまぐち&わーど」

(法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」)

2020年度 貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人Colorbath

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	6,055,711	
未収金	0	
流動資産合計		6,055,711
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	0	
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		6,055,711
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	216,383	
前受金	1,590,000	
流動負債合計		1,806,383
2. 固定負債		
長期借入金	104,061	
退職給付引当金	0	
固定負債合計		104,061
負債合計		1,910,444
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,589,679
当期正味財産増減額		2,555,588
正味財産合計		4,145,267
負債及び正味財産合計		6,055,711

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

2020年度 財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人Colorbath

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	0		
住信SBIネット銀行	6,055,711		
未収金	0		
流動資産合計		6,055,711	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			6,055,711
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
交通費等立替(吉川、池田)	211,290		
ライフカード	5,093		
前受金			
一般財団法人日本国際協力システム	1,590,000		
預り金	0		
流動負債合計		1,806,383	
2. 固定負債			
長期借入金			
吉川 雄介	104,061		
固定負債合計		104,061	
負債合計			1,910,444
正味財産			4,145,267

2020年度 活動計算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人Colorbath
(単位：円)

科	目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I	経常収益			
1	受取会費			
	正会員受取会費	0		
	賛助会員受取会費	0		
	受取会費計	0		
2	受取寄附金			
	受取寄附金	0		
	受取寄付金計	0		
3	受取助成金等			
	受取助成金	4,310,000		
	受取助成金等計	4,310,000		
4	事業収益			
	国際交流事業	1,232,020		
	スポーツ交流事業	440,000		
	事業収益計	1,672,020		
5	その他収益			
	受取利息	38		
	その他収益計	38		
	経常収益計			5,982,058
II	経常費用			
1	事業費			
	(1)人件費			
	給料手当	0		
	福利厚生費	0		
	人件費計	0		
	(2)その他経費			
	旅費交通費	256,902		
	接待交際費	3,233		
	消耗品費	9,545		
	新聞図書費	0		
	修繕費	0		
	寄付金	1,614,574		
	広告宣伝費	31,650		
	外注費	1,235,000		
	会議費	30,955		
	雑費	68,165		
	減価償却費	0		
	その他経費計	3,250,024		
	事業費計			3,250,024
2	管理費			
	(1)人件費			
	役員報酬	0		
	給料手当	0		
	福利厚生費	0		
	人件費計	0		
	(2)その他経費			
	租税公課	600		
	水道光熱費	0		
	通信運搬費	56,866		
	事務用品費	0		
	諸会費	0		
	支払手数料	118,980		
	保険料	0		
	賃借料	0		
	減価償却費	0		
	その他経費計	176,446		
	管理費計	176,446		176,446
	経常費用計			3,426,470
	当期経常増減額	0		2,555,588
III	経常外収益			
		0		
	経常外収益計	0		
IV	経常外費用			
		0		
	経常外費用計	0		
	当期収支差額			2,555,588
	前期繰越正味財産額			1,589,679
	次期繰越正味財産額			4,145,267